

表1 会計別予算執行状況

一般会計・特別会計

令和5年3月31日現在

区分	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般会計	358億8,124万円	339億1,677万円	94.5%	316億9,881万円	88.3%
特別会計	207億5,670万円	186億8,338万円	90.0%	185億3,384万円	89.3%
国民健康保険	87億6,455万円	81億496万円	92.5%	80億8,746万円	92.3%
後期高齢者医療	23億9,097万円	23億9,187万円	100.0%	23億7,364万円	99.3%
介護保険	74億4,364万円	72億9,287万円	98.0%	65億3,800万円	87.8%
戸倉財産区	479万円	483万円	100.8%	358万円	74.8%
テレビ共同受信事業	4,069万円	3,988万円	98.0%	1,560万円	38.3%
秋多都市計画事業武蔵引田駅北口土地区画整理事業	21億1,206万円	8億4,897万円	40.2%	15億1,556万円	71.8%
合計	566億3,794万円	526億15万円	92.9%	502億3,265万円	88.7%

※ 予算を整理する出納整理期間(4月1日～5月31日)のお金の動きは含まれていません。

※ 3月31日現在の状況であり、収入を支出が上回っている項目については、他会計からの繰入れや、基金を運用して補てんをしています。

公営企業会計 下水道事業会計は、出納整理期間はありませんが、決算の数値を精査中であるため、実際の決算数値と異なる場合があります。

区分	予算額	執行額	執行率	
下水道事業	収益的収支			
	収入	21億3,095万円	21億4,451万円	100.6%
	支出	20億4,351万円	19億4,705万円	95.3%
	資本的収支			
収入	16億8,649万円	15億4,559万円	91.6%	
支出	25億3,532万円	23億7,299万円	93.6%	

※ 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、損益勘定留保資金(※1)等で補てんしました。

※1 損益勘定留保資金…減価償却費、たな卸資産減耗費等の収益的収支における現金支出を必要としないものを費用に計上することによって留保される資金のこと。ただし、補てん財源として使用できる額は、これらの費用の合計額から長期前受金戻入や欠損金見込額を控除した額となります。

表2 市債現在高の状況

令和5年3月31日現在

市債の目的	市債の現在高
衛生債(保健相談所などの整備のために)	24億304万円
土木債(道路や橋梁などの整備のために)	23億6,775万円
教育債(学校や図書館などの整備のために)	14億9,217万円
総務債(庁舎の整備などのために)	12億6,789万円
消防債(消防施設などの整備のために)	9億1,226万円
災害復旧事業債(施設や橋梁などの災害復旧のために)	3億3,210万円
民生債(保育所などの整備のために)	1億5,489万円
農林水産業債(農林水産施設などの整備のために)	3,312万円
その他(臨時財政対策債、減税補てん債など)	142億4,772万円
計	232億1,094万円
秋多都市計画事業武蔵引田駅北口土地区画整理事業特別会計(武蔵引田駅北口土地区画整理事業のために)	21億330万円
下水道事業会計(下水道整備のために)	161億5,046万円
合計	414億6,470万円

※1 臨時財政対策債とは、国から地方公共団体に分配する地方交付税が足りないため、その不足する金額の一部を補うための借金のことを言います。その返済に要した金額は、将来、地方交付税として交付されます。

※2 減税補てん債とは、国の減税政策によって減収となった市税等を補うための借金で、その返済に要した金額は、将来、地方交付税として交付されます。

※3 金額は、表示単位未満を四捨五入しており、端数処理の関係で、合計数値が合わないことがあります。

市の財政状況をお知らせします

令和5年3月31日現在

市では、皆さんに納めていただいた市税などが、どのように使われているのかをお知らせするため、年に2回財政状況を公表しています。

今回お知らせするのは、令和5年3月31日現在における令和4年度の一般会計、特別会計及び公営企業会計の予算の執行状況(表1)、市の財産、借入金などの概要です。最終的な令和4年度の決算状況は、改めて広報あきる野でお知らせします。

市債現在高の状況

長期間にわたって多くの方々を利用する公共施設の整備には、一度に多くのお金が必要となるため、国や都の同意を得て、国、都、銀行などからお金を借ります。これを市債といいます。市債の活用により、現在施設などを利用している方だけではなく、これから利用する世代の方々にも負担していただくことで、世代間の負担の公平を図っています。(表2のとおり)

一時借入金の状況

市の会計は、予算があっても現金が一時的に不足することがあります。このため、年度内の返済を条件に銀行などから一時的に借りるお金が一時借入金です。

令和5年3月31日現在、金融機関等からの一時借入金はありません。

市有財産の状況

○土地面積(学校敷地など) 718万1,558㎡

○建物面積(庁舎など) 19万7,051㎡

○自動車保有台数(消防車両を含む) 97台

○出資金などの現在高 9,650万9千円

※令和5年3月31日現在の集計です。

基金の状況

基金とは、今後の支出に備えて特定の目的ごとに積み立てている資金です。

令和5年3月31日現在の基金の現在高は、15の基金で50億2,566万円となっています。

問合せ 財政課財政係

一般会計の状況

入ってきたお金(歳入)

合計	予算額	収入済額	収入率
	358億8,124万円	339億1,677万円	94.5%
市税	110億345万円	108億3,714万円	(98.5%)
国庫支出金	70億9,995万円	65億5,452万円	(92.3%)
都支出金	58億6,106万円	52億1,943万円	(89.1%)
地方交付税	49億2,469万円	49億3,902万円	(100.3%)
繰越金	17億8,036万円	17億8,036万円	(100.0%)
地方消費税交付金	17億580万円	18億5,201万円	(108.6%)
市債	10億2,054万円	6億8,754万円	(67.4%)
諸収入	8億9,450万円	4億5,434万円	(50.8%)
使用料及び手数料	4億5,997万円	4億218万円	(87.4%)
法人事業税交付金	1億7,442万円	1億9,407万円	(111.3%)
その他	9億5,650万円	9億9,616万円	(104.1%)

使ったお金(歳出)

合計	予算額	支出済額	執行率
	358億8,124万円	316億9,881万円	88.3%
民生費	169億4,362万円	155億3,934万円	(91.7%)
衛生費	45億2,134万円	37億205万円	(81.9%)
総務費	34億8,795万円	30億853万円	(86.3%)
教育費	34億2,263万円	29億428万円	(84.9%)
土木費	27億9,583万円	22億1,848万円	(79.3%)
公債費	21億3,806万円	21億3,406万円	(99.8%)
消防費	11億8,090万円	10億6,041万円	(89.8%)
商工費	5億4,173万円	4億9,324万円	(91.1%)
農林水産業費	3億9,683万円	2億7,952万円	(70.4%)
その他	4億5,235万円	3億5,890万円	(79.3%)